

情報学委員会分科会の設置について

分科会等名：国際サイエンスデータ分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○情報学委員会 国際委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>学術活動のみならず社会的な合意形成の基盤となるサイエンスデータの重要性は近年ますます増大し、将来予見される社会のデジタル変革において適切なサイエンスデータの共有、相互利用はSociety5.0のみならずグローバルな科学に基づく意思決定、政治・経済・市民社会の形成など多面的な重要性を持つと考えられる。関連する国内活動は学協会、各研究機関から科学政策策定支援等多岐に渡っており、これらを俯瞰的に議論し、サイエンスデータの基盤構築、発信、活用に関わる諸組織との国際的な連携を推進する役割が学術会議には不可欠である。</p> <p>本分科会は、ISCが直轄するCODATA、WDSの2つの国際組織への対応活動を行っており、それぞれこれまでCODATA小委員会、WDS小委員会を設置しつつ、両者を取りまとめる母体分科会として活動してきている。本分科会は、こうした2国際組織への国内対応上不可欠であるとともに、上記の国内外の幅広いサイエンスデータのあり方に対する議論や提言等を目的として設置するものである。</p>
4	審議事項	<p>1. 国際的視点でのサイエンスデータ活動のあり方の提言等</p> <p>2. CODATA、WDS等の国際活動対応</p> <p>3. その他、関連課題の議論に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和5年10月1日～令和8年9月30日
6	備考	※事実上第25期より継続